科目名	簿記原理Ⅱ（1級コース）
年次	2
単位数	6
教員氏名	住吉
到達目標	一年時に履修した簿記原理Ⅰに続き、日本商工会議所　簿記検定1級を在学中に目指す。
授業概要	一年次に未履修の項目を修了し、例題の解説を中心に講義をする。
授業計画	以下の内容の講義を予定している。1コマは3時間である。 1- 4 税効果会計、現金預金 5- 7 金銭債権、貸倒引当金 8- 9 有価証券 10-11外貨換算会計、デリバティブ取引 12-14 有形固定資産、リース取引 15-17 無形固定資産・投資その他の資産 18-20 繰延資産、研究開発費 21-23 引当金、退職給付会計 24-25 社債 26-29 純資産 30-34 総まとめ講義
テキスト	TAC　合格テキスト日商簿記1級商業簿記・会計学Ⅱ
参考書	
評価方法	前期・後期試験 出席 課題
準備学習等	事前に問題を解答しておく
備考	

科目名	簿記原理Ⅱ（３級コース）
年次	2
単位数	6
教員氏名	川口
到達目標	商業簿記の基礎から学び日商簿記3級の取得を目指す。
授業概要	簿記未学習者を対象者として、複式簿記の計算方法の習得を目指し学習する。
授業計画	1　簿記の基礎 2　記帳のルール 3-4　簿記一巡の手続き 5-11　商品売買ⅠからⅥ(記帳方法等) 12-19その他の期中取引ⅠからⅦ（小口現金等） 20　決　　算 21　決算整理Ⅰ（現金過不足） 22　決算整理Ⅱ（消耗品） 23　決算整理Ⅲ（売上原価） 24　決算整理Ⅳ（貸倒れ） 25　決算整理Ⅴ（減価償却） 26-27　決算整理Ⅵ（ 繰延べ・見越し） 28-29　精算表 30　帳簿の締め切り（英米式決算） 31-32損益計算書と貸借対照表 33-34　伝票会計
テキスト	TAC　合格テキスト日商簿記3級
参考書	TAC　合格するための本試験問題集日商簿記3級
評価方法	前期・後期試験 出席 課題
準備学習等	
備考	